

2019年3月期 第2四半期

(2018年4月～2018年9月)

決算説明資料



市川工場

 東洋合成工業株式会社

2018年11月16日 (金)

2019年3月期第2四半期 決算概要

2019年3月期 第2四半期 業績ハイライト

- 市場環境は良好に推移し、売上高は前年同期比+901百万円（同+9%）の11,177百万円。
- 利益面は、売上高の増加により、生産能力増強に伴う先行費用増を消化し増収増益。
営業利益は801百万円（同+4.5%）、経常利益は842百万円（同+15.6%）。
- 前期は特別利益153百万円の計上があったことから、四半期純利益は同△38百万円（同△6.5%）の550百万円。

(百万円)	前期実績値	期初 業績予想値	実績値	前年同期比		業績予想比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	10,275	11,000	11,177	+901	+8.8%	+177	+1.6%
営業利益	766	540	801	+34	+4.5%	+261	+48.3%
経常利益	728	480	842	+113	+15.6%	+362	+75.4%
四半期純利益	588	320	550	△38	△6.5%	+230	+71.9%
1株当たり四半期純利益	74.18	40.32	69.37				
1株当たり中間配当金	5.00	5.00	5.00				
為替レート (USD)	¥111/\$	¥107/\$	¥109/\$				

2019.3 第2四半期決算のポイント

■売上高

- ✓ 11,177百万円（前年同期比+901百万円、+8.8%）
- ✓ 感光材、電子材料向け高純度合成溶剤の販売が増加

■営業利益

- ✓ 801百万円（同+34百万円、+4.5%）
- ✓ 感光材の生産能力増強投資に伴う先行費用（人件費・減価償却費等 390百万円）を消化し増収増益

■経常利益

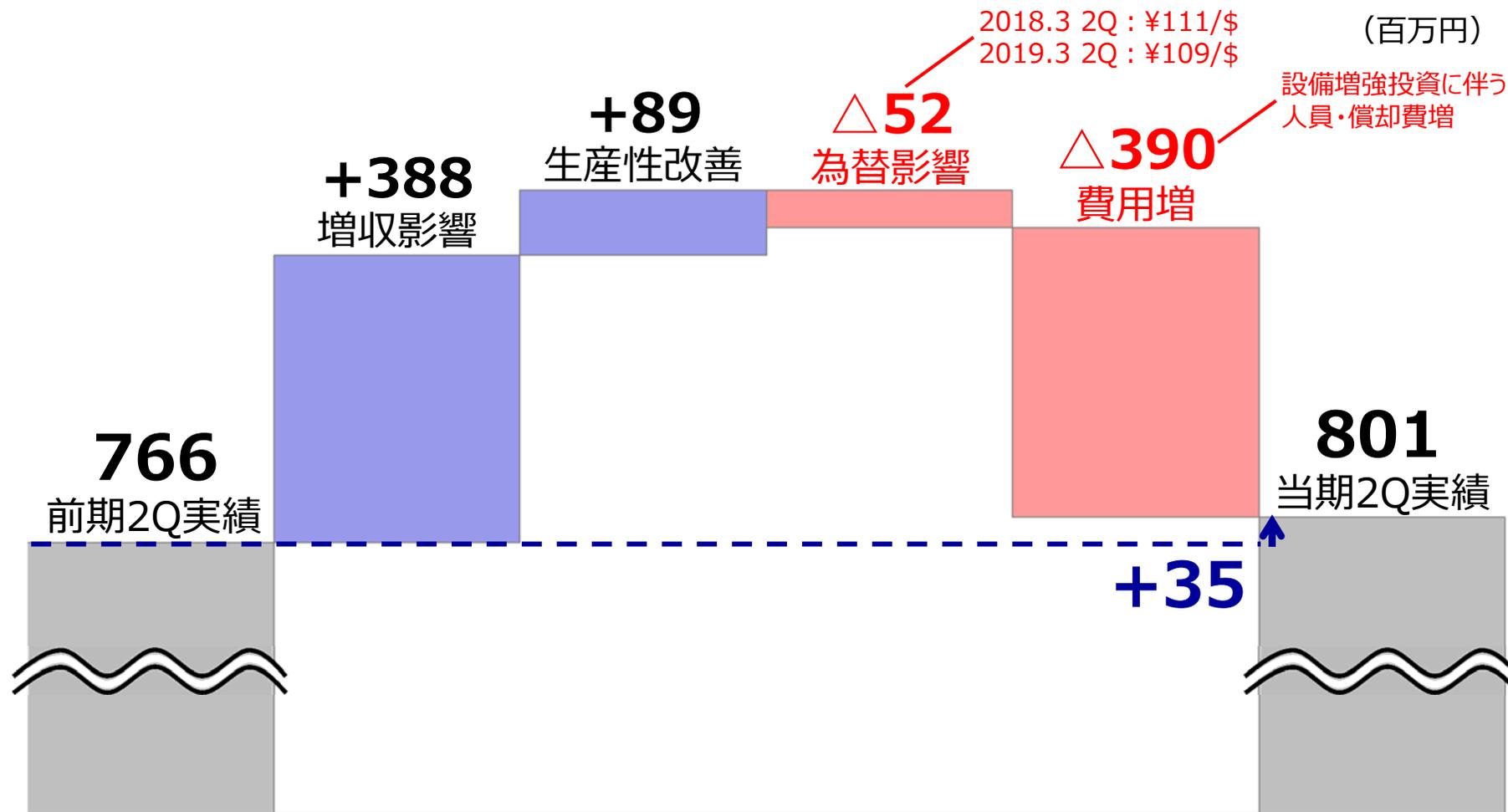
- ✓ 842百万円（同+113百万円、+15.6%）
- ✓ 営業外収益として、為替評価益71百万円を含む107百万円（同+66百万円）を計上したことなどから、利益増となった

■四半期純利益

- ✓ 550百万円（同△38百万円、△6.5%）
- ✓ 前期は旧工場用地の売却益を計上、前期比で減益

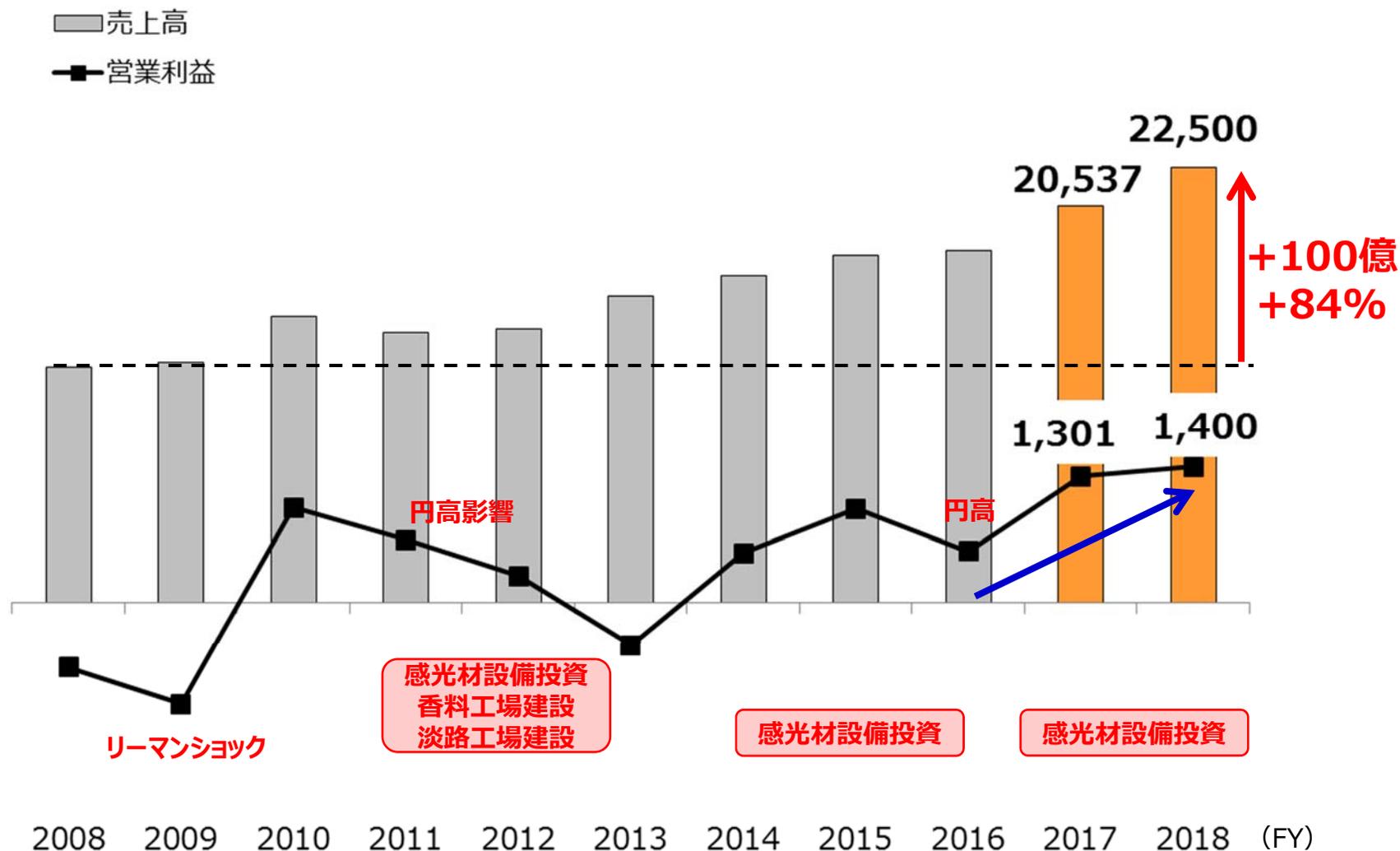
営業利益 増減要因

設備投資関連の先行費用を消化し、増収増益



売上高・営業利益の推移

売上高は10年で100億円増加、強みを生かした集中投資により、利益を拡大

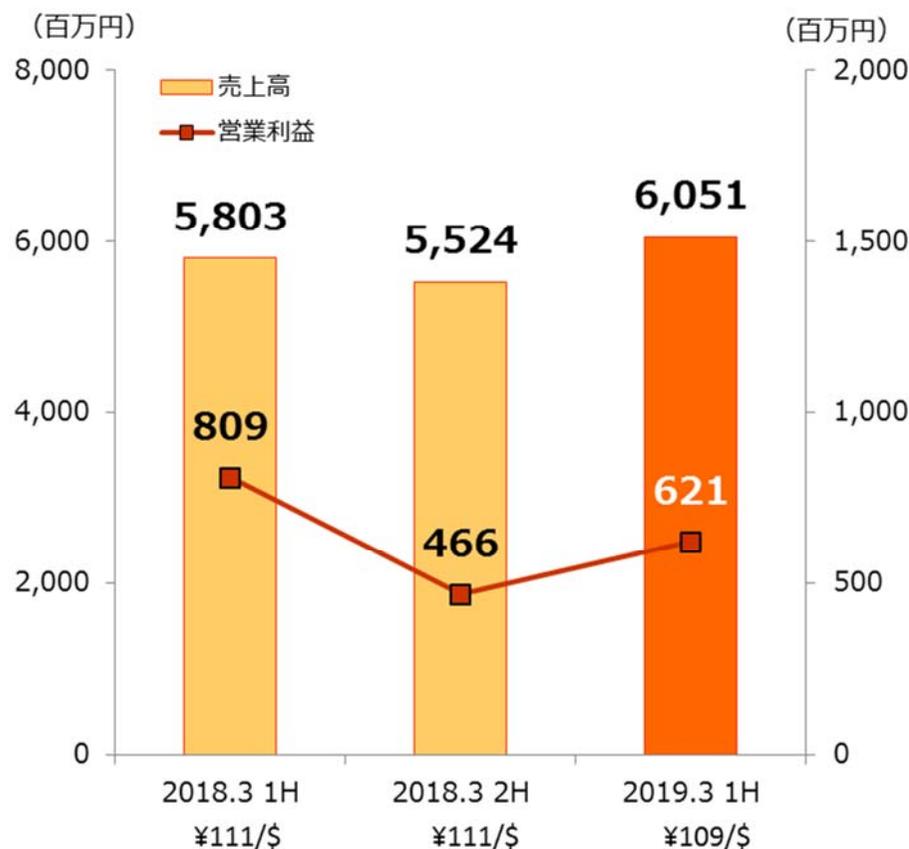


感光性材料セグメント

半導体向け、FPD向け共に好調に推移し、増収。

生産能力増強に伴い費用が先行して発生、利益水準は前年同期比で減少。

売上高・営業利益



売上高：6,051百万円

(前年同期比+247百万円、+4.3%)

旧世代・先端世代向け感光材、FPD向け感光材の販売が好調に推移。

EUV世代向け感光材の量産出荷開始。

有機EL向け感光材も堅調。

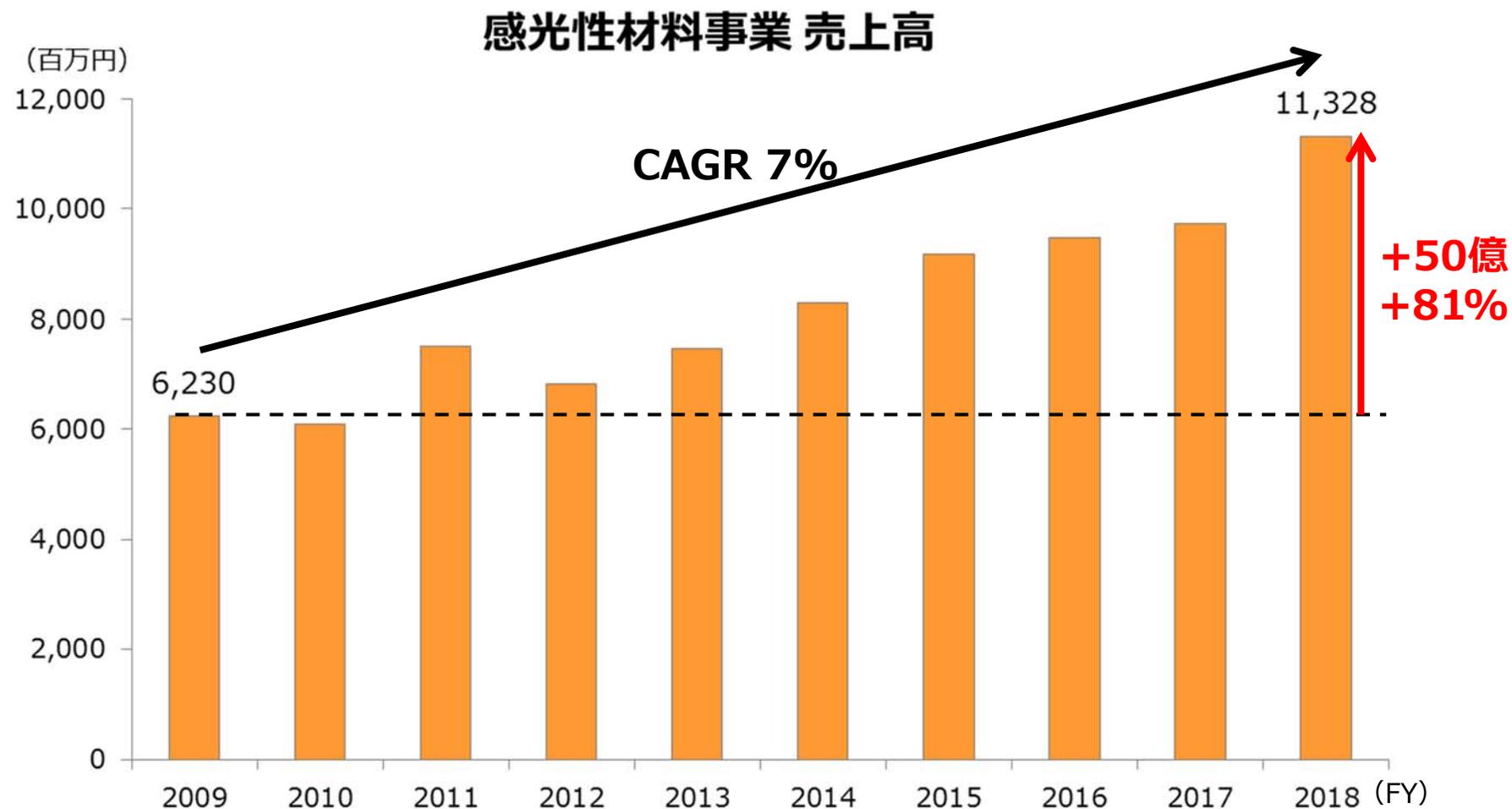
営業利益：621百万円

(前年同期比△187百万円、△23.2%)

生産能力増強に伴い、生産開始に先行して労務費、減価償却費が390百万円発生したものの前年同期比187百万円の減少にとどめた。

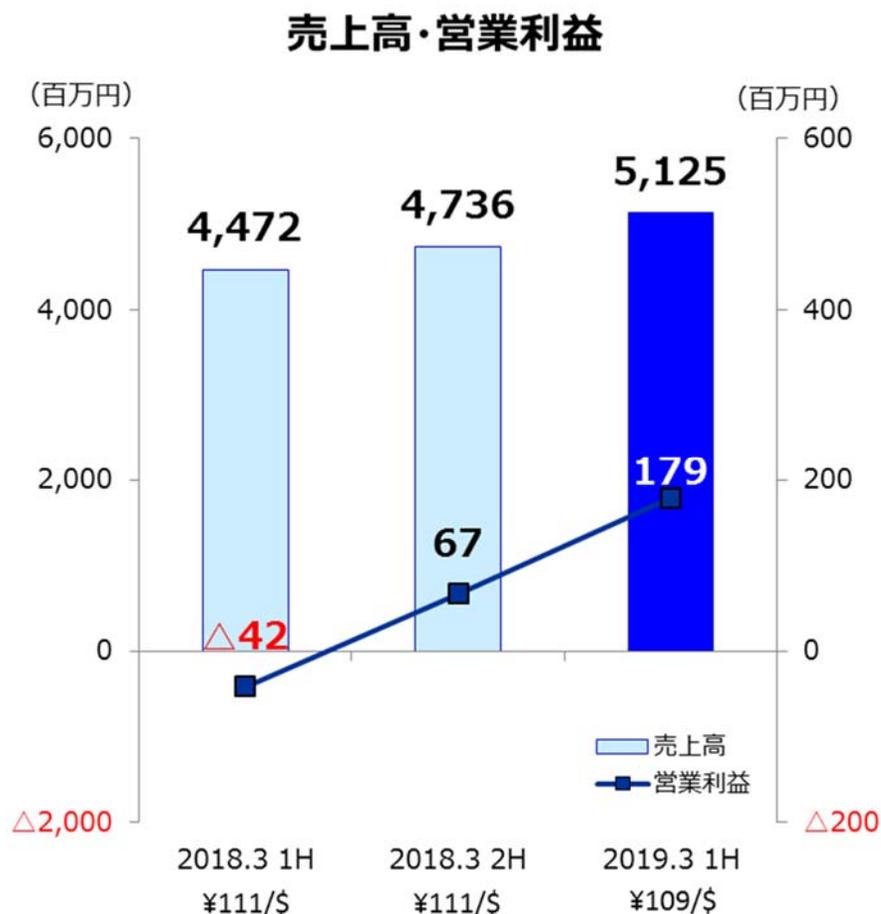
感光性材料セグメント：長期売上推移

感光性材料事業の売上高は、10年間で50億円増加。
継続的な能力増強により、売上高を増加。



化成品セグメント

ファインケミカル分野において、電子材料関連用途の高純度溶剤の販売が増加。
機能化学品（香料関連）・ロジスティックは堅調に推移し、増益。



売上高：5,125百万円

(前年同期比+653百万円、+14.6%)

機能化学品分野の香料材料関連は堅調に推移。
ロジスティック分野は、高稼働が続き好調。

営業利益：179百万円

(前年同期比+222百万円)

高純度溶剤の販売が急増により、増益。
利益拡大を継続。

損益計算書

- 売上高は+902百万円、8.8%増加。
- 売上総利益は、感光性材料事業の能力増強投資に伴う390百万円の先行費用増を吸収し、120百万円の増益。
- 当期純利益は、特別損益にて前期計上の固定資産売却益分が減少し、前期比減益。

(百万円)	2018.3期 2Q	2019.3期 2Q	増減額	増減率
売上高	10,275	11,177	901	8.8%
売上原価	8,085	8,866	781	9.6%
売上総利益	2,190	2,310	120	5.5%
販売管理費	1,423	1,509	86	6.0%
営業利益	766	801	35	4.6%
営業外収益	40	107	66	167.5%
営業外費用	78	66	△38	△15.4%
経常利益	728	842	114	15.7%
特別損益	146	0	△146	—
税引前当期純利益	874	842	△33	△3.7%
法人税等合計	285	△22	△32	△7.7%
当期純利益	588	550	△38	△11.5%

[特別損益 △146]
 前期発生 of 固定資産売却益
 の発生無し

貸借対照表

- 売上債権の増加は、販売の増加に伴うもの
- 棚卸資産の増加は、当下期の工事前の在庫確保、及び販売見込み増のため。
- 自己資本比率も1.3pt向上。

(百万円)	2018.3末	2018.9末	増減額
流動資産	12,617	13,218	601
現金預金	2,525	2,075	△449
売上債権	3,695	4,143	447
棚卸資産	6,108	6,702	593
その他	287	297	9
固定資産	17,511	17,434	△76
有形固定資産	16,585	16,530	△54
無形固定資産	331	300	△30
投資・その他	595	603	8
資産合計	30,128	30,653	524
負債	22,345	22,358	13
仕入債務	2,872	2,816	△55
有利子負債	14,460	15,205	744
その他	5,012	4,337	△675
純資産	7,783	8,294	511
株主資本	7,738	8,249	510
負債・純資産合計	30,128	30,653	524

[有利子負債 +744]
設備能力増強投資により
増加

[自己資本比率]
27.1% (前期末比+1.3pt)

2019年3月期 通期業績見通し

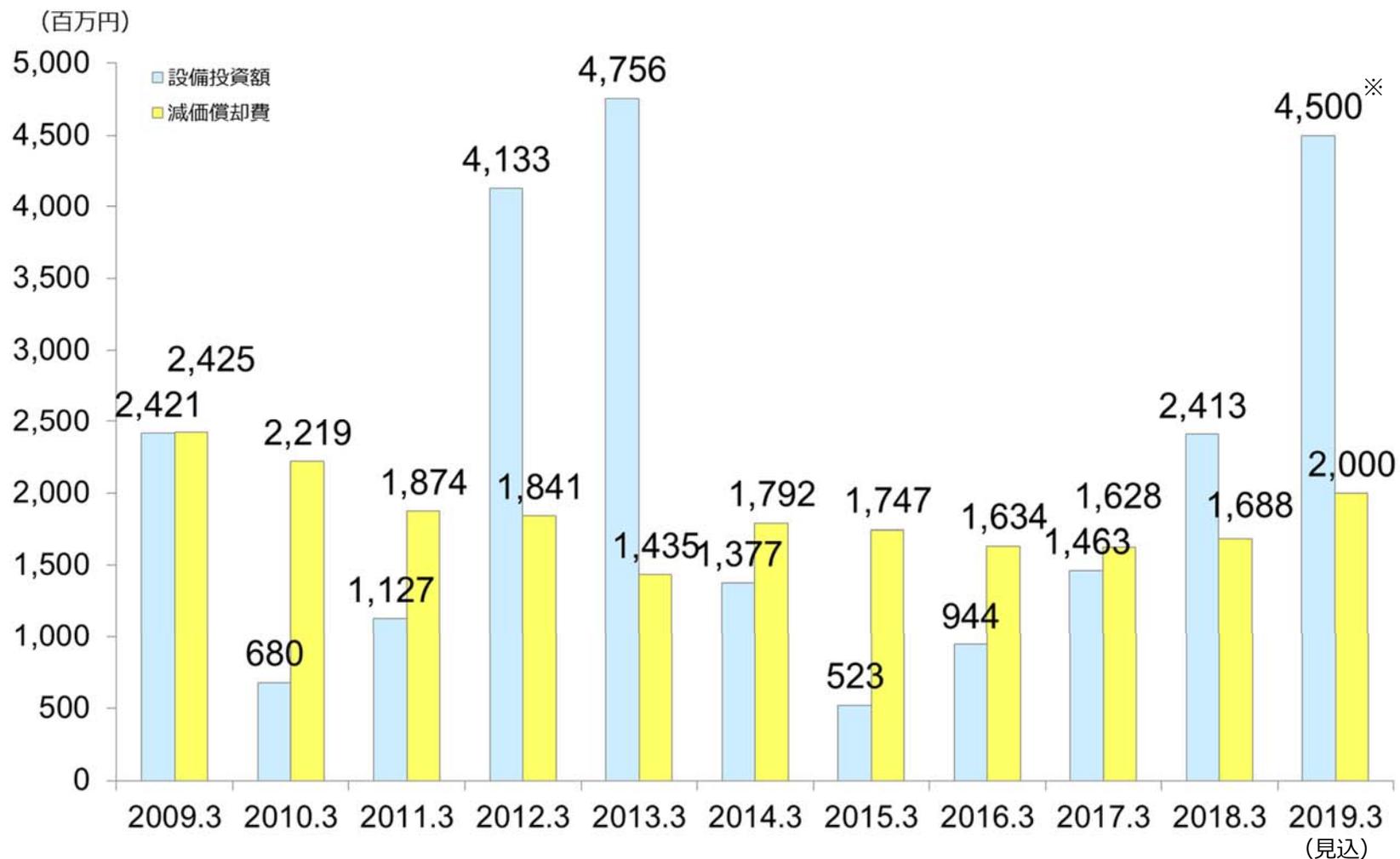
2019.3通期 業績予想

- 通期業績見通しを増収減益から増収増益へ修正。下半期も感光材、化成品（高純度溶剤）の販売増を見込む。
- 感光材事業の一部生産ラインは、能力増強工事中、次期以降の利益拡大を狙う。
- 化成品事業は、利益の一層の拡大に向けて能力増強中。
- 想定為替レートは ¥110/\$へ変更。1株当たり配当金額に変更なし。

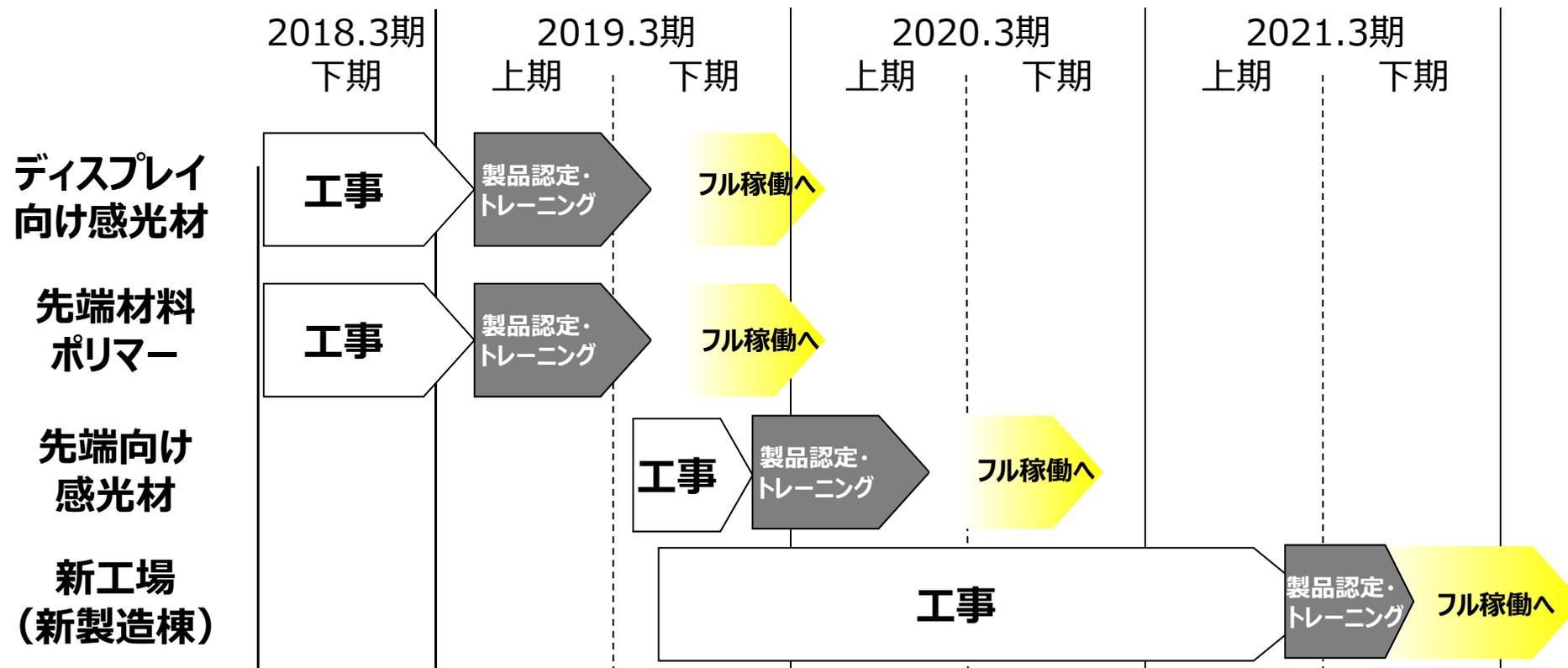
(百万円)	前期実績	期初 業績予想	今回修正 業績予想	前期実績vs今回修正		期初予想vs今回修正	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	20,536	22,000	22,500	1,964	+9.6%	500	+2.3%
営業利益	1,300	1,100	1,400	100	+7.7%	300	+27.3%
経常利益	1,089	1,000	1,350	261	+24.0%	350	+35.0%
当期純利益	863	670	830	△33	△3.8%	160	+23.9%
1株当たり当期純利益	108.73	84.41	104.57				
1株当たり年間配当金	10.00	10.00	10.00				
為替レート (USD)	¥111/\$	¥107/\$	¥110/\$				

設備投資額と減価償却費の推移

- 2018.3期以降の断続的な生産能力増強投資により、減価償却費は2019.3期に20億円台へ上昇する見込み。

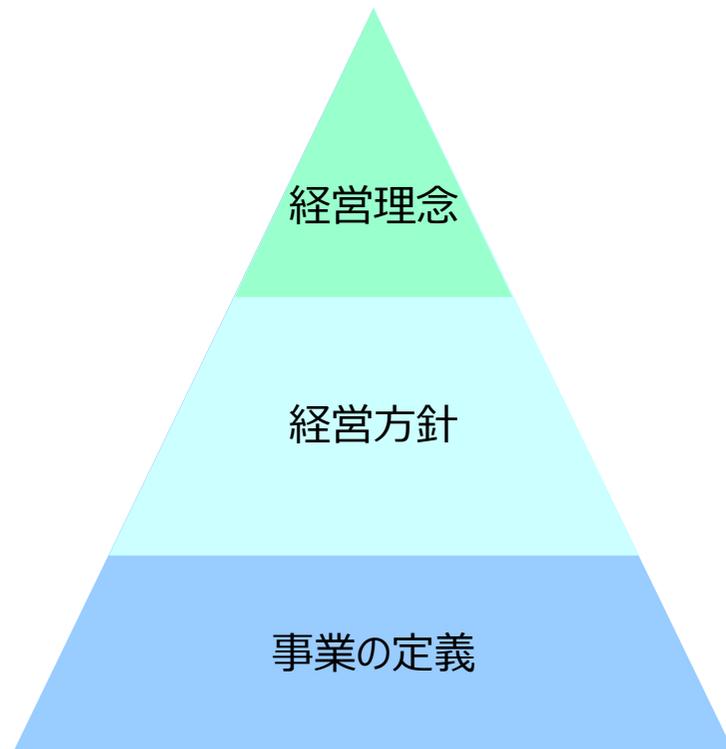


感光材の生産能力増強投資



中期経営計画「TGC300」について

経営理念、経営方針、事業の定義



経営理念

東洋合成工業は、人類の文明の成長を支えるため、人財・創造性・科学技術を核として、事業を行い、その寄与度を高めるためにも成長する

経営方針

- 1.安全操業を最優先し、従業員、協力会社社員、地域住民など関係者の安心できる操業環境を確保する。
- 2.法令や社内ルールを遵守するとともに、誠実かつ公正な企業活動を行う。
- 3.世界最高のマイクロストラクチャー構造材料を国際社会に提供する。
- 4.常に新製品、新プロセス、新サービスを開発する。
- 5.生産技術の高度化を推進し、新プロセスを開発、安定品質で市場競争を勝ち抜く。**
- 6.国内外隔たりなく企業活動を展開し、日本を代表するグローバル企業となる。
- 7.全社をあげて、常に能力開発に努め、個人の能力の向上を通じて創造性を発揮し、社会に貢献する。

事業の定義

IT・医療・生活用品分野に、化学製品/サービスを開発・提供する。
創造的かつ先進的なサービス開発。
顧客最終製品の競争力を強化。

数値目標

2023年3月期目標

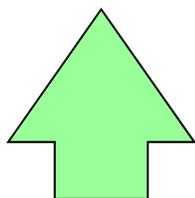
売上高：300億円以上

経常利益：30億円以上

経常利益率：10%以上

設備投資額：120億円

(戦略投資の中期経営計画期間累計)



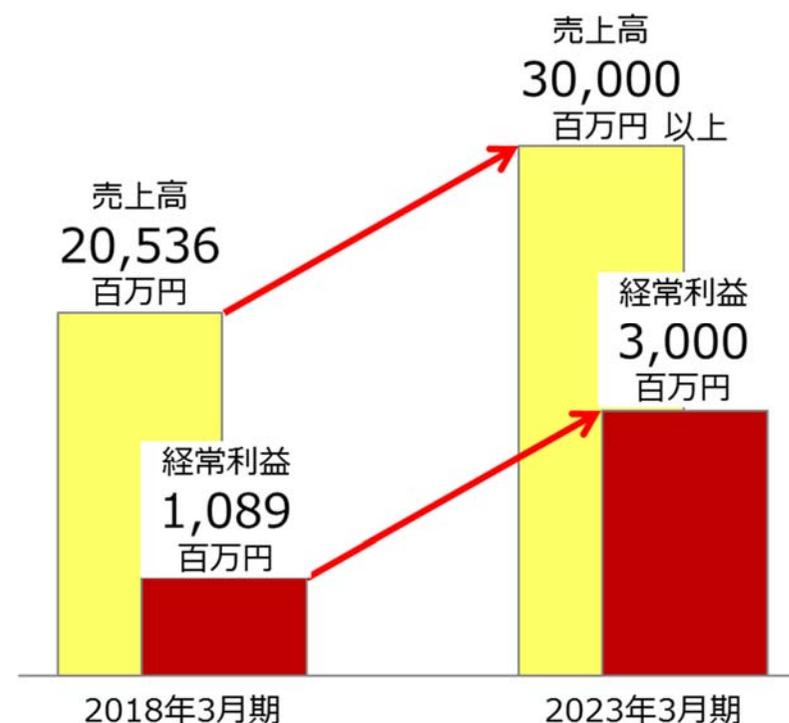
2018年3月期実績

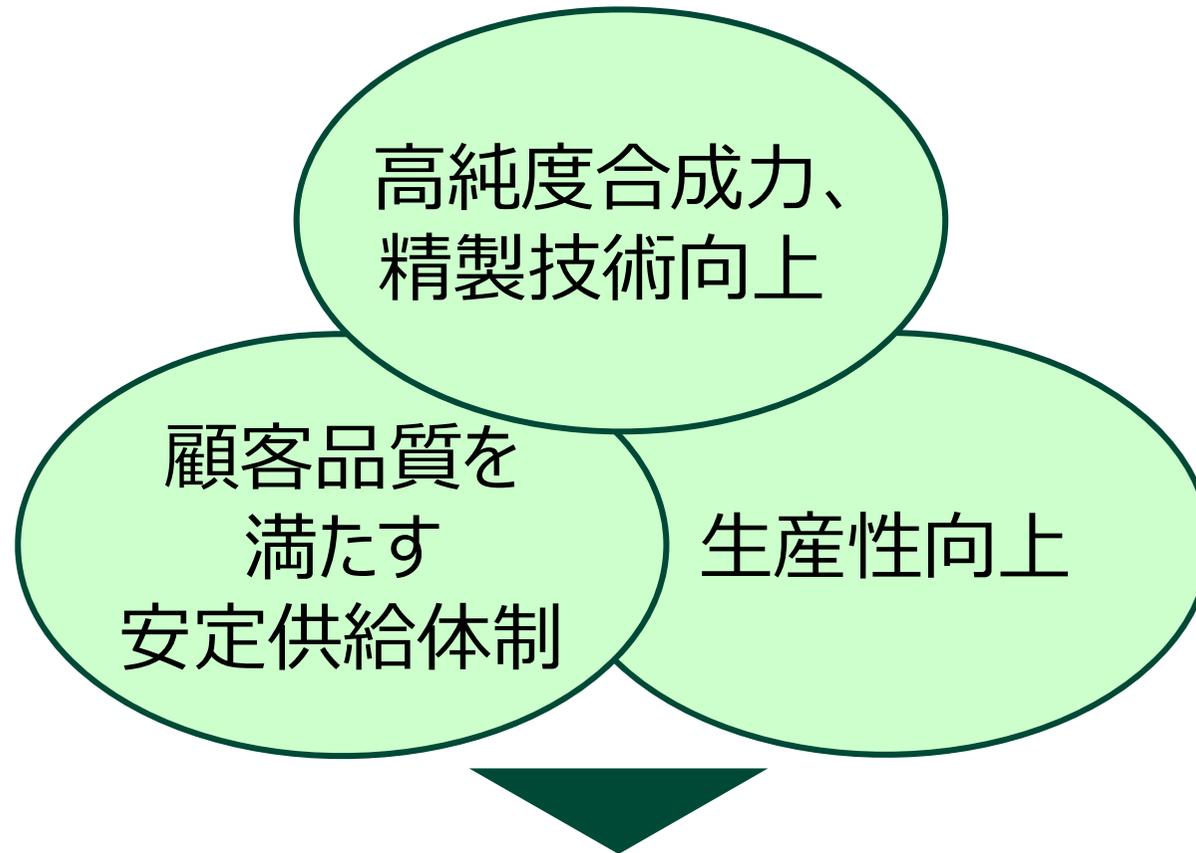
売上高：205億円

経常利益：10億円

経常利益率：5.3%

売上高・経常利益





■ 「TGC300」のビジョン

顧客課題、技術課題一つ一つを真摯に独創的な視点で解決し、超高品質・生産性で世界No.1ダントツ企業となる。

中期経営計画の事業領域



事業環境

市場の要望

- ✓日常生活の中で電子デバイスの使用の裾野が急拡大
(5G、ビッグデータ、AI、IoT、EV、etc)
- ✓微細化・高機能化の進展とともに、高純度・高機能の機能性材料が一層必要とされてきている

お客様の要望

- ✓EUVを中心に高純度化要望が加速
- ✓少ロット・高難易度から対応可能な企業が限定

需要に対する課題

- ✓顧客品質を満たす生産設備能力が必要

施策

- 生産能力の確保
- 生産性の向上
- 高純度化技術の開発

事業戦略：感光材セグメント・化成品セグメント

■ 感光材セグメントの生産能力拡大

- ・顧客品質の実現により、電子材料の技術革新に貢献
- ・先端半導体を支える超高純度合成力と生産性の両立を強みに

■ 化成品セグメントの事業強化

- ・先端半導体向け超高純度溶剤の品質・開発・安定供給体制を強化
- ・化学専門タンクターミナルとしてのRPAなどの先進的自動化促進による高付加価値化

機能戦略：研究開発、製造技術、人材育成、経営基盤

■ 研究開発

- ・顧客品質と生産性を両立する製造技術開発の強化
- ・世界随一の高純度製造ノウハウとIoT技術の融合による生産性の向上
- ・素材イノベーションを事業化する体制を強化し、次世代のビジネスポートフォリオの構築を図る

■ 人材育成

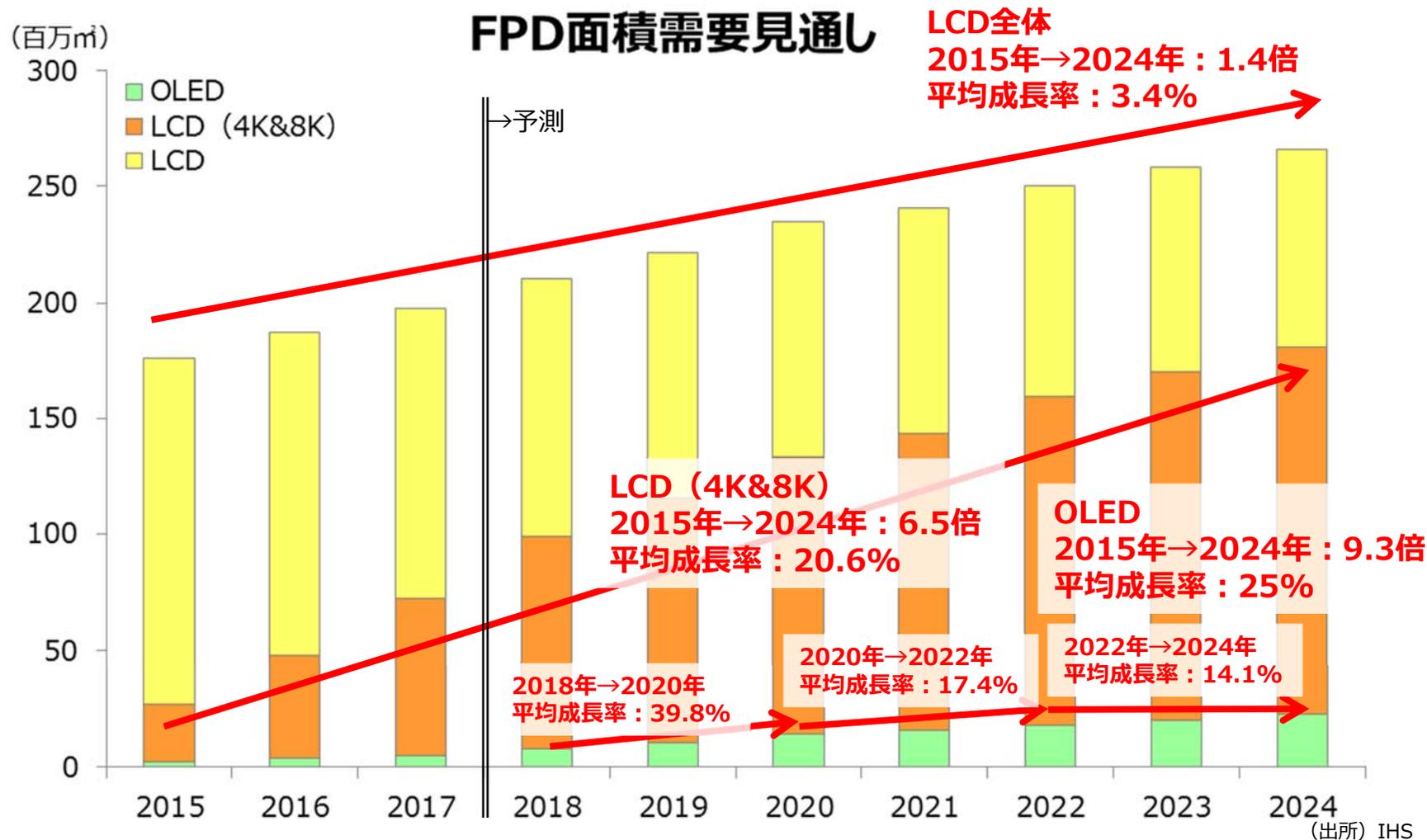
- ・生産性向上に向けた人材育成の強化
- ・次世代ビジネスリーダーの育成

■ 経営基盤の強化

- ・機能性材料サプライチェーンを支える安全技術力を高める
- ・安定成長を実現するガバナンス体制を構築する

新中計「TGC300」の位置付け：ディスプレイ市場

FPD向けレジスト需要は、中国におけるFPD生産能力拡大により、成長が続く。
画面の高精細化に伴い、高品質な感光材ニーズが顕著化。

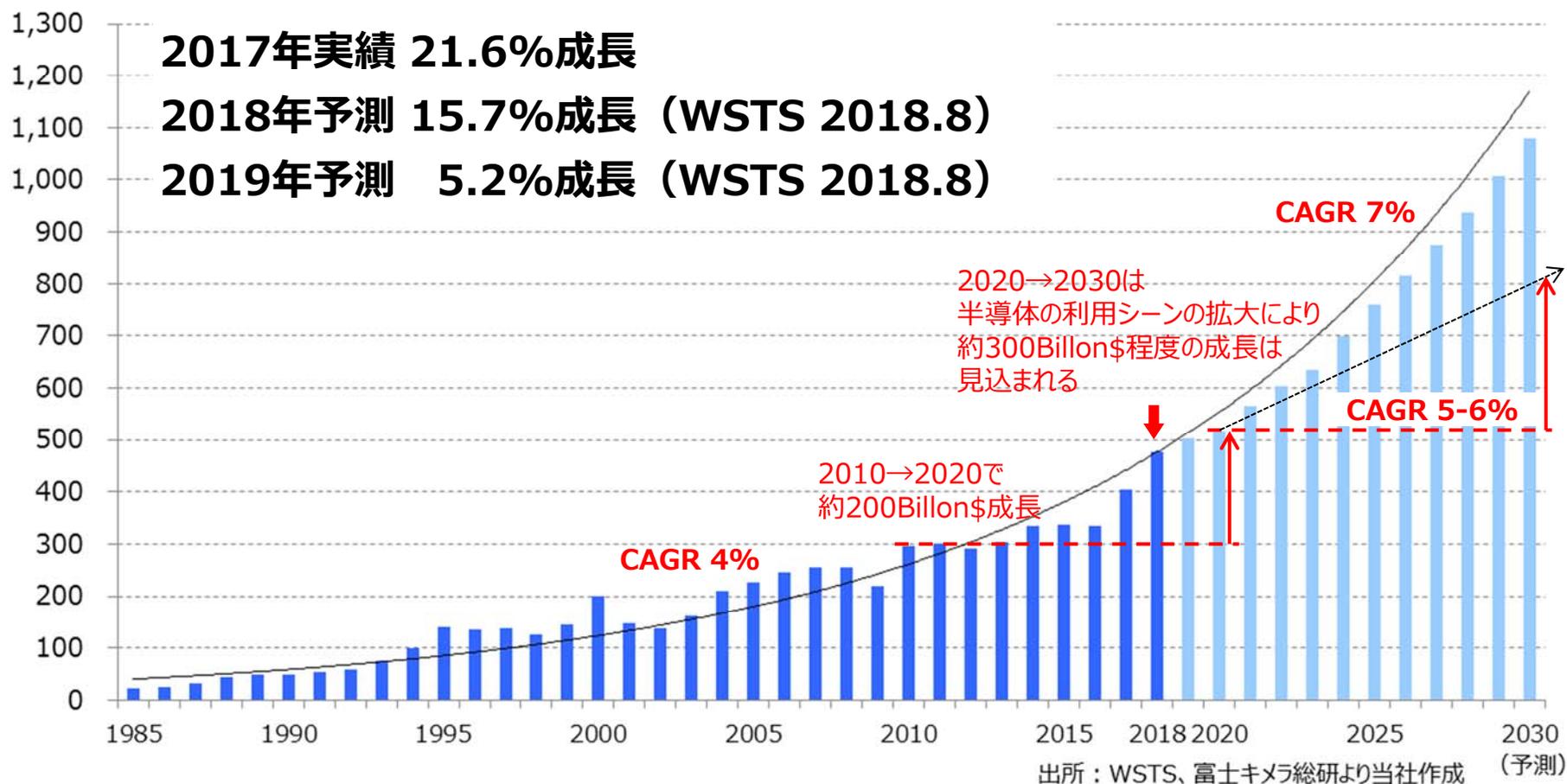


新中計「TGC300」の位置付け：半導体市場の推移と予測

- 2018年1～6月実績は前年比20.4%増（SIA）。但し足元は減速傾向。
- 世界的な電子デバイスの日常生活への普及、利用シーンの拡大から、半導体市場は2030年には現状の1.5～2倍に拡大する見通し。

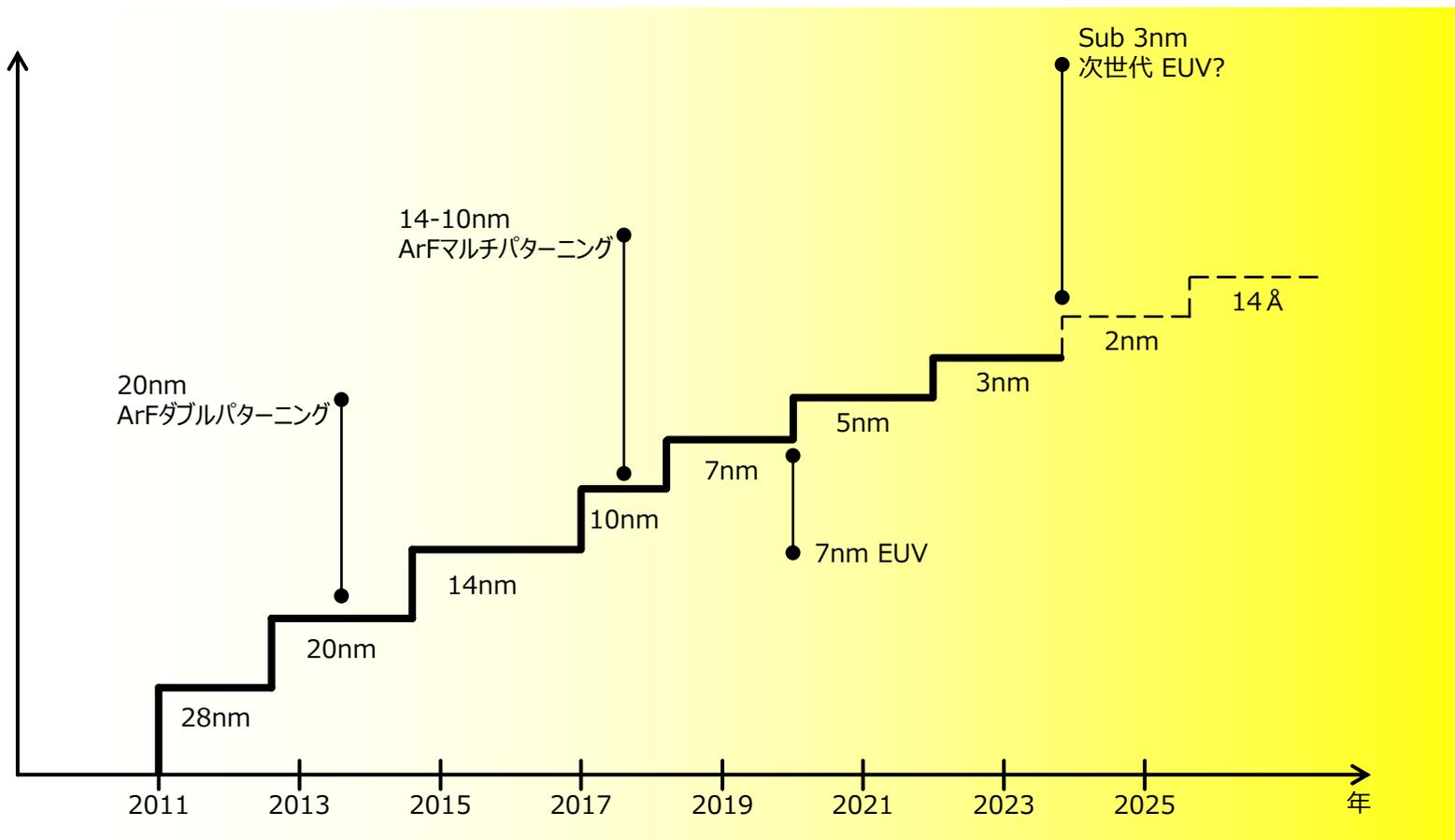
世界半導体売上高

(Billion USD)



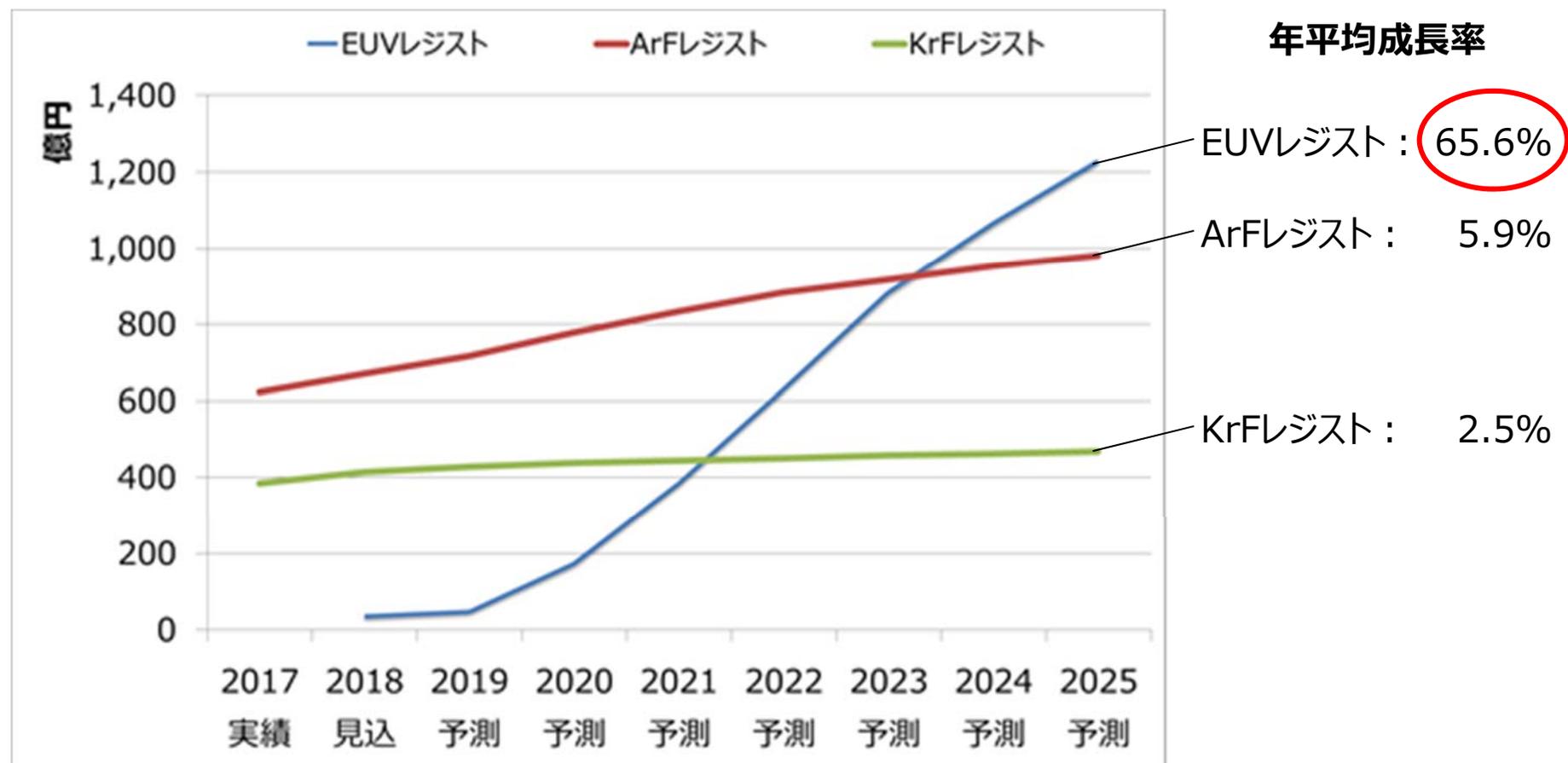
新中計「TGC300」の位置付け：リソグラフィ技術の微細化

- 半導体のノード（線幅）の微細化は続いており、2018年時点では7nmまで量産化。
- 今後2025年に向けて、2nmレベルまで微細化が進むと考えられている。
- 配線の微細化、三次元化、プロセス材管理の厳格化の進展に合わせ、超高純度溶剤、超高純度感光材のニーズ急増。



フォトレジスト市場 実績及び予測

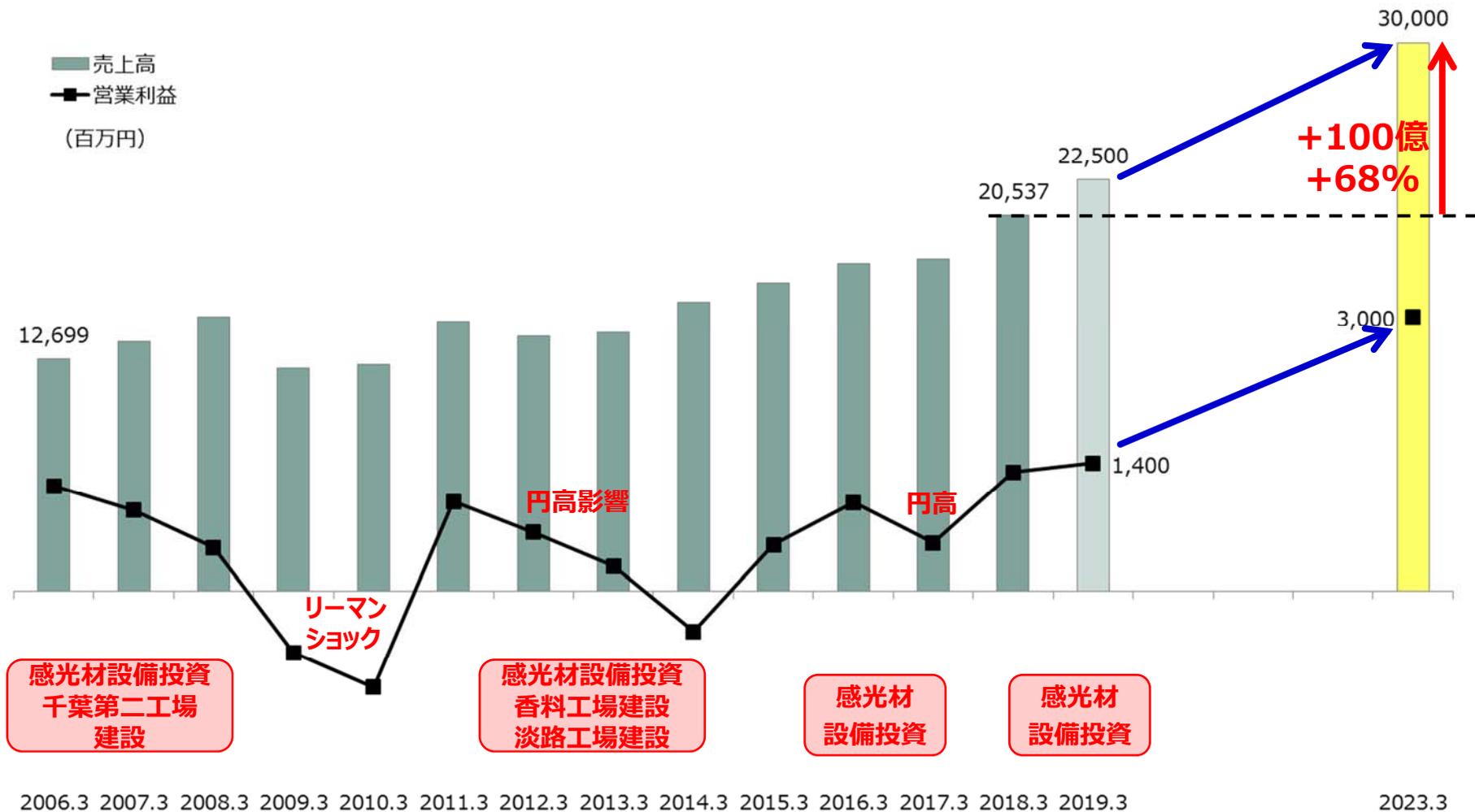
- EUVレジストは、2018年 トライアル～量産、2019年以降に本格立上がりと予測
- EUVレジストは、2021年にKrレジスト市場を超え、2023年にはArレジスト市場を超過すると予測



出所：(株)富士キメラ総研資料より当社作成

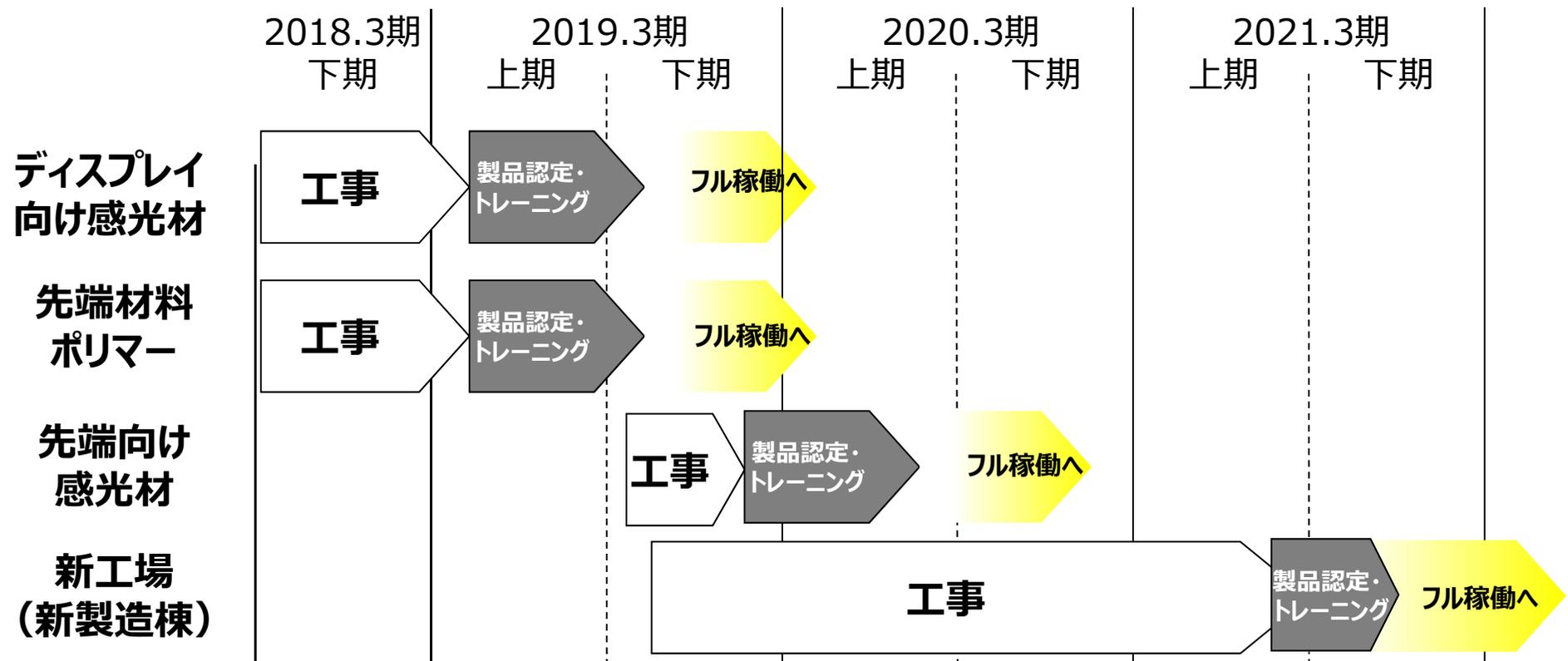
新中計「TGC300」の位置付け：大型投資と業績推移

- 感光材事業は、半導体の微細化進展に伴い、継続的に生産設備の増強を図ってきた。
- 中期経営計画期間では、ポートフォリオの充実により、利益拡大ある増収計画を見込む。



重点戦略：感光材の生産能力増強投資

- 2018.3期以降、既存設備の能力増強投資を実施→30～40%程度の能力増強
- 足元の需要の増大に対応するため、2021.3期完成に向け、新製造棟建設を決定（投資額70億円）→30～40%程度の能力増強



資本政策・株主還元

- 連続的成長により利益を増加させ、次の投資余力を確保する
- 株主還元は安定配当を基本とするものの、成長性、財務バランス等を総合的に勘案し、決定する。



独創的な視点で世界へ

Individual Development, to the global Chemical

東洋合成工業株式会社

(見通しに関する注意事項)

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。

従いまして、実際の業績は、様々な要因やリスクにより、この業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。